



町有林とロケ誘致をPR

1月31日「嵐なび」にてロケが実施されました。テレビ埼玉が40周年ということで、埼玉県全市町村を対象に行われています。その中で町有林の活動とロケ誘致をPRしました。



町有林の活用としては、以前紹介させていただいた「嵐山町産ヒノキ箸」につづき、「バターナイフ」を作りました。まだまだ改良の余地ですが、有効利用には良い製品です。今後も、端材を活用した製品を作り、より多くの方に製品を手にとりていただくことで、里山について考えるきっかけとなればと願っています。



また、今回のロケでは「嵐山町の一体感」を感じました。今回のように駅前を占有できることが、町民でもやりやすくなると、面白いことがどんどん起き

てくると思います。そんな可能性を改めて感じた「ロケ現場」でした。

インバウンドとしても魅力的な町

埼玉県の「比企インバウンド事業」に参加してきました。東秩父の鬼太鼓座（おんでござ）、吉見町の畳屋づくり体験、川島町のすたてや醤油蔵、色々なことを体験しました。嵐山町では、国立女性教育会館で茶室での「茶道」を体験。日本の美意識やモノに込める想い、所作にも深い意味があることを知りました。ご存知の通り、海外の方は、異文化に興味を持ちますよね（当然、日本人も）。そこをキャッチアップすれば、嵐山町の農業や景観、味噌造り体験、古民家も十分勝負できます。ぜひ、興味のある方は、一緒にビジネス展開を模索したいです。



神岡のLINE



町おこしディレクターは、嵐山町版地域おこし協力隊です。観光協会と地域支援課が協力しながら行っている事業です。
問合せ 地域支援課 ☎62-2152

Spalte des Doktors 医師のコラム

早期発見に勝るものなし

厚生労働省の発表によると、日本人の死亡原因の1位は男女とも悪性新生物（ガン）です。
では、私たちのガンについての認識はどうでしょうか。ガンだと知らされると、できるだけ語るのを避けておしる隠しがちです。これは、ガンと診断されるとこれからの人生について、家族について、仕事について、ガンとどうたかひ、どう生きていくか見えなくなるからです。孤独です。ガンと診断された人の、不安、恐怖、狼狽心、孤独感、誰も理解することができません。患者さん自身も理解困難なのです。検診を受けた後、「先生、私は覚悟ができてから、どんな結果でも正直に話してください」と話す患者さんでさえ、いざ事実と直面すると、どんな反応をするか全く予測できません。これは、いまでもガンは治らない病気で、死の宣告みたいに考えている人が多いからです。ガンについて、理解が不足しているからです。死亡原因の1位になったガンについて正しくありのままに理解し、家庭や、会社、あるいは学校でも、日常的に話題とすべ

きです。秘密にすべきではないのです。ガンについて、もっともっと日常的に話し合えば理解することが必要なのです。なぜなら、医学の進歩によって、ガン治療は飛躍的に進歩しています。ガンになっても、治療によって社会復帰したり、もとの日常生活を取り戻したりすることができつつあるのです。
なんと、いっていい、ガンとのたたかひにおいて最も大切なのは、早期発見、早期治療です。病気のほとんどで言えるのですが、いかに医学が進歩しても病気の治療は早期発見に勝るものはありません。では、早期発見を可能にするのはなんですか。それは定期的な検診であり、普段から自覚症状を見逃さないことです。自覚症状とは、自分の体から発する、異常のサインです。とくに持続するよつなサインに対して、早めに反応して受診すれば、早期発見のチャンスも多くなります。患者さんの訴えが、全ての医療行為の、出発点なのです。

西大寺医院
住所 志賀192-131
電話 ☎62-11286
診療科目 内科、外科、皮膚科
診療時間 9時～12時
14時～18時
休日 木、日、祝日

嵐山町役場 長寿生きがい課内

地域包括支援センターです

シニアの皆さんの総合相談窓口!

問合せ ☎62-0718

若年性認知症を知っていますか?

若年性認知症とは 認知症は高齢者の病気と思われがちですが、いわゆる「現役世代」と呼ばれる人々にも発症することがあります。「若年性認知症」は、18歳以上65歳未満で認知症が発症した場合を総称した言い方です。発症年齢は平均で51・3歳であり、約3割は50歳未満で発症しています。発症から診断がつくまでに時間がかかる場合が多いと言われています。早期発見・早期治療が重要です。



なぜ診断が遅れるのか

若年性認知症の場合、多くの人が現役で仕事や家事をしているので、認知機能が低下すれば、支障が出て気づかれやすいと考えられます。しかし、実際には、仕事でミスが重なったり、家事がおっくうになっても、それが認知症のせいとは思いません。疲れや更年期障害、あるいはうつ状態など他の病気と誤って、医療機関を受診します。誤った診断のまま時間が過ぎ、認知症の症状が目立つようになってからようやく診断された例も少なくありません。

病院ではどの科を受診すればよいのか

認知症の初期には確定診断が難しい場合もあり、できるだけ、認知症の専門医を受診します。最初に気付いた症状や今までの経過、他の疾患の有無、服用している薬の内容などを聞かれます。「物忘れ外来」など、認知症を専門にみている科が勧められますが、かかりつけの医師に相談し、紹介状を書いてもらうこともできます。

若年性認知症と診断されたら

若年性認知症と診断されたらご本人もご家族もこれからが不安です。まずは、さまざまなことを相談できる場所を見つけてみましょう。

- ◎相談窓口 医療機関の相談員 病気と今後の経過、生活上の注意点など主治医に確認したうえでこれからの生活について相談できます。

埼玉県若年性認知症支援コーディネーター

若年性認知症の人やその家族、支援関係専門職、職場や企業等からの医療や福祉サービスや生活全般にわたる相談や支援を行う専門職です。医療機関との連携、社会保障の手続き、社会参加・就労に関する支援などを行います。

☎048-814-1212
(月～金9時～16時)

嵐山町地域包括支援センター

住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送るための様々なサービスを提供します。

☎62-0718
(月～金8時30分～17時15分)



若年性認知症の本人・家族交流の場「リンクカフェ」

若年性認知症の方やその家族、支援者が自由に集える場「リンクカフェ」がオープンしました。

開催日 毎週木曜10時～14時
(お盆と年末年始等は休み)

場所 さいたま市浦和区常盤3-12-17日建プリムローズ常盤第3
問合せ 若年性認知症支援コーディネーター
☎048-814-1212
初めて参加を希望される場合は、事前にご相談ください。

「嵐カフェ ウェルシア」

日時 3月10日(火) 10時～12時
場所 ウェルシア嵐山東口店内
参加費 100円
問合せ 嵐山町地域包括支援センター
☎62-0718

「フチカフェ」

日時 3月18日(水) 13時30分～15時30分
場所 ふれあい交流センター
参加費 200円
問合せ 一般社団法人 プチモンド
☎81-5446



「嵐カフェ」掲示板